

環境技術実証モデル事業検討会
酸化エチレン処理技術ワーキンググループ会合（第 5 回）
議事要旨

- 1 . 日時：平成 16 年 3 月 23 日（火）13：30～16:00
- 2 . 場所：東京都庁 2 1 1 会議室（東京都庁第 2 庁舎 10 階）
- 3 . 議題
 - （ 1 ）環境技術実証モデル事業全般について
 - （ 2 ）酸化エチレン処理技術実証試験結果報告書要約（案）について
 - （ 3 ）今後のスケジュールについて
 - （ 4 ）その他
- 4 . 出席検討員 坂本和彦（座長）、岩崎好陽、小淵存、加藤征太郎、山川洋平
実証機関関係者（東京都）：寺田正敏、佐藤 博、仲井広重
東京都環境科学研究所：占部武生、辰市祐久、樋口雅人
- 5 . 配付資料
 - 資料 1 東京都における実証試験の実施状況について
 - 資料 2 - 1 実証試験結果報告書要約（ムラキ㈱）（案）（非公開資料）
 - 資料 2 - 2 実証試験結果報告書要約（㈱日本触媒）（案）（非公開資料）
 - 資料 2 - 3 実証試験結果報告書要約（エア・ウォーター㈱）（案）（非公開資料）
 - 資料 2 - 4 実証試験結果報告書要約（三浦工業㈱）（案）（非公開資料）
 - 資料 2 - 5 実証試験結果報告書要約（スリーエムヘルシケア㈱）（案）（非公開資料）
 - 資料 2 - 6 実証試験結果報告書要約（㈱パックス）（案）（非公開資料）
 - 資料 2 - 7 実証試験結果のまとめ（非公開資料）
 - 資料 3 今後の検討スケジュールについて（予定）

参考資料

- 1 酸化エチレン処理技術ワーキンググループ会合（第 4 回）議事要旨
- 2 環境技術実証モデル事業東京都技術実証委員会（第 2 回）議事要旨
- 3 環境技術実証モデル事業パンフレット
- 4 平成 16 年度「環境技術実証モデル事業」実施要領（案）
- 5 平成 16 年度の対象技術分野の追加について（案）
- 6 環境技術実証モデル事業検討会設置要綱
- 7 同 酸化エチレン処理技術ワーキンググループ会合設置要綱
- 8 環境技術実証モデル事業東京都技術実証委員会設置要綱
- 9 酸化エチレン処理技術実証試験要領
- 10 同 実証試験要領 英訳版

11～16 酸化エチレン処理技術実証試験計画

6. 議事

会議は非公開で行われた。

(1) 環境技術実証モデル事業全般について

- ・事務局から、参考資料3及び5に基づき説明。

(2) 酸化エチレン処理技術実証試験結果報告書要約(案)について

- ・実証機関(東京都)から、資料1、2-1～7に基づき説明。
- ・資料2—1～6の説明時には、各環境技術開発者が入れ替わりに入室し、試験結果についての質疑を行なった上、実証試験結果報告書の作成における留意点等について検討された。

(3) 今後の検討スケジュールについて

- ・事務局から、資料3に基づき説明。
- ・事務局から、酸化エチレン処理技術分野が来年度も継続されることが、環境技術実証モデル事業検討会において決定したことが報告された。
- ・事務局から、全検討員に対し、来年度のワーキンググループにおいても引き続き検討員への就任を要請する旨の説明を行った。
- ・今後、実証機関は実証試験結果報告書を作成し、次回のワーキンググループ会合(5月中旬を予定)でその内容について検討する旨、事務局から説明を行い、了承された。

(文責：環境省環境管理局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)